

HP版

塩北

甲州市立塩山北中学校 学校だより
 =令和6年度=
 第3号
 発行者：校長 丹澤 一浩
 R6. 10. 1



塩北の名をとどろかせました！

～NHK全国学校音楽コンクール県大会 金賞受賞～

この夏は「猛暑日」「熱中症警戒アラート」という言葉が何度聞かれたことでしょうか。本当に暑い日々が続きました。また、全国的に見れば、各地で記録的な大雨が観測されたり、大きな地震、大型の台風が通過したりして、被害が発生しました。そのような中、この夏休みにも、学校内外で塩北生の活躍する姿を多く見ることができました。剣道部、バスケット部は県総体に向けて必死に練習に取り組む姿が見られました。ソフトテニス部は引退試合に向けてしっかりと活動していました。個人として陸上、空手も活躍してくれました。美術部は蒼天祭に向けての作品作りに頑張っていました。吹奏楽部は7月20日に行われた県大会で、新入部の1年生5名を含めた11名ながら見事に金賞を受賞しました。この短期間でやり遂げたこと、また質の高い演奏を繰り返し広げたことで、大変驚かれたとのこと。地道な練習を一生懸命積み上げた成果だと思います。そして、多くの生徒が関わる合唱部は、8月7日に行われたNHK全国学校音楽コンクールに山梨英和中学校との合同チームで出場しました。コンクールまでに練習を数回にわたって行い、質の高い練習と交流を深め、見事に金賞及び関東甲信越ブロック大会の出場権を獲得しました。そして、ブロック大会は9月7日（土）に埼玉県で行われ、奨励賞を受賞しました。保護者の皆様を始め、多くの方々がサポートしてくださいました。感謝申し上げます。



地域と共にある学校の姿

2年生 職場体験学習実施～南園芸にて～

夏休み中の7月22日、23日の2日間、大藤地区の「南園芸」様の作業場において、2年生が職場体験学習をさせていただきました。これは毎年恒例となっているもので、キャリア教育の一環としての意味と、学校と地域が一体となって子どもを育てるという活動の意味があります。本校は地域との結びつきが強く、地域にとっても支えられている学校です。2年生は大変熱心に取り組んでいました。「本当によく働く生徒たちです」とお褒めの言葉もいただきました。南園芸様におかれましては、お忙しい中にも関わらず、生徒を受け入れていただき、本当にありがとうございました。



僕らの「蒼天祭」～輝き続ける塩北のキセキ～

第53回蒼天祭 新たな伝説へ

9月8日（日）に第53回塩山北中学校学園祭「蒼天祭」が行われました。この日を迎えるまで、生徒たちは本当によく頑張ってきました。年々全校生徒の人数が少なくなる中、生徒会本部のみんなを中心に、「この人数でどうやったら、僕らの『蒼天祭』が創れるのか」と必死で考えてくれていました。多く不安を抱え、葛藤しながらの取組だったと思います。しかし、朝早くから夕方遅くまで、一生懸命取り組んでくれました。

そして当日、これまでの塩山北中学校の軌跡を振り返り、僕らの『蒼天祭』を創り上げるために心をひとつにした開祭式で幕を開けた蒼天祭。体育の部では、躍動感あふれる競技や演技を見せてくれました。系列対抗競技も2勝2敗と、最後のリレーまでもつれる接戦で、最後のリレーもアンカーで勝負が決まるという熱戦が繰り広げられました。そして昨年に引き続き披露した、全校生徒によるマ스ゲームでは、ボンボンだけでなく、手旗を使って一生懸命に演技する姿で会場中を魅了しました。

午後の文化の部では、合唱部の発表、1・2年生の総合的な学習の発表、弁論発表、美術部の発表、吹奏楽部の演奏が行われました。特に総合的な学習の発表では、それぞれの学年で寸劇も取り入れた発表を行ってくれ、学んだことがしっかりとわかりました。合唱発表も短期間の取組ではありましたが、系列の合唱はそれぞれの系列の個性が出ていた合唱でしたし、3年生の合唱は「さすが最上級生」とうならせるものでした。最後の全校合唱「ほらね、僕らの『 』」は、一体感とオーラを感じる素晴らしいもので、脈々と受け継がれる塩山北中の軌跡を感じさせてくれました。この歌をみんなで歌うことの意義を、みんなが感じているからだと思います。

閉祭式でみんなが手をつないで歌ったアカペラの「僕らの『 』」、「校歌」を聴いたとき、思わず目頭が熱くなりました。塩山北中学校の軌跡、愛校心、郷土愛、そして日常の学習活動の成果がそこに集約されていました。成功を祝福するような花火も本当に圧巻でした。素晴らしい僕らの『蒼天祭』を創り上げたみんなのパワーは当日の天気までも変えてしまいました。まさに、新たな塩北の伝説をみんなが創り上げたのです。この経験を糧に、今後さらに成長して、塩山北中学校を閉校まで進化・発展させていきましょう。全員に拍手を贈ります。👏

